



2025年6月26日

BMWとKithが協力関係を継続しBMW XMの限定モデル「BMW XM by Kith」を発表

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：長谷川正敏）は、BMW XM の限定車「BMW XM by Kith」の注文の受付を、本年7月2日から7月14日まで全国のBMW正規ディーラーにおいて実施する。日本国内において1台限定での導入となり、消費税込みのメーカー希望小売価格は、2,650万円である。

BMW XM by Kith商品情報ウェブサイト

<https://www.bmw.co.jp/ja/topics/brand-and-technology/bmw-xm-kith.html>

BMWとKithは、成功を収めたコラボレーションの新しい限定車を発表した。BMW XMとその伝説的なBMW M1とのつながりは、プレミアム・カー・メーカーであるBMWと、ロニー・ファイグの世界的に有名なライフスタイル・ブランドであるKithとのコラボレーション第3弾となっている。この高性能プラグイン・ハイブリッドは、専用のエクステリアおよびインテリア・デザインを備えた「BMW XM by Kith」として発売される。

2020年からのBMW M4 Competition Coupé、2022年からのBMW i4 M50 xDriveをベースにロニー・ファイグがデザインしたエディション・ピークルに続き、BMWとKithはパートナーシップの最新章を再び特別なBMW Mモデルに捧げる。BMW XMは、1978年から1981年に製造されたBMW M1以来となるBMW Mの限定モデルであり、新開発のM HYBRID ドライブ・システムを初めて搭載している。BMW XMは、サイド・アクセント・ストリップ、リアに配された2つのBMWエンブレム、リア・ライトのルーバー構造など、伝説的なミッドシップ・スポーツカーのデザインにインスピライアされた印象的なディテールを備えている。

BMW XM by Kith：47台、ヒストリカル・カラー、エクスクルーシブなディテール

BMW XM by Kithは、BMW M1のデビューからの経過年数を反映し、47台限定で生産される。2025年後半に、特にエクスクルーシブなBMW Mモデルのエンスージアストやコレクターに向けて納車される予定である。このエディションでは、歴史的なモデルをベースとしたBMW Individual フローズン・テクノ・バイオレット・メタリック塗装が施されている。KithがBMW XM by Kithのために特別に開発したこの塗装仕上げは、この限定モデルにのみ使用され、BMWが再び使用することはないため、このエディションは本当に特別なものとなる。

この塗装と数々の特別なデザイン・フィーチャーは、現代のスポーツ・アクティビティ・ピークルならではのダイナミックなプロポーションと、BMW XMの特徴である表情豊かなラインを強調している。BMW XM by Kithは、ブラックのサイド・ウインドウ・グラフィックとアクセント・ストリップが特徴である。フロント、リア、サイドのモデル名とKithロゴのアウトラインは、テクノ・バイオレット・メタリック仕上げとなっている。BMW XM by Kithには、ジェット・ブラック仕上げのスター・スポーク・デザインの23インチMラ

イト・アロイ・ホイールが標準装備されている。

インテリアでは、BMW XM by Kith のモダンなスポーツカー・コックピットが、Kith レーベルの印象的な美学による特別なディテールによって引き立てられている。イルミネーションが施されたドア・シルには、1台1台の希少性を示す特別な「1/47」のバッヂがあしらわれている。ベロアのフロアマットとセンター・コンソールのコントロール・センターには、Kith のロゴと M のストライプがあしらわれている。

運転席と助手席の M マルチファンクション・シートのヘッドレスト下には、イルミネーション・バージョンも用意されている。BMW Individual メリノ・レザー仕上げのシート表面には、センター・コンソールのアームレストと同様に、Kith のモノグラム・パターンがエンボス加工されている。エディション・カーのコントロール・ディスプレイにもディテールが施されている。特別なウィジェットには、BMW XM by Kith の車名、「1/47」の徽章、M ストライプをあしらった Kith のロゴが含まれている。

また、BMW XM by Kith のリアにある M ラウンジは、車内のパーソナルな雰囲気を演出している。シート表面には Kith のモノグラムがエンボス加工され、2つのクッションには Kith のロゴがあしらわれている。あらかじめ設定されたパープルのインテリア照明とともに、このエディションにふさわしい特別な雰囲気を醸し出している。

付属の充電ケーブルをスタイリッシュに収納できる、Kith がこのエディション専用にデザイン・製造したダブルバッグが標準で搭載されている。

マイアミ・ビーチでワールド・プレミア「BMW XM Kith Concept」

BMW と Kith は、同じくロニー・ファイグがデザインしたコンセプト・カーを発表した。BMW XM Kith Concept のエクステリアとインテリアは、ロニー・ファイグが BMW とのコラボレーションにより、ハイ・パフォーマンス・モデルの特徴的なキャラクターとエクスクルーシブなスポーティネスを特に強烈に表現している。市販車のホモロゲーションの慣習にとらわれず、洗練されたライティング・コンセプトのデザインにより、BMW Individual フローズン・テクノ・バイオレット・メタリック塗装にマッチするパープル・カラーが中心的な役割を果たしている。BMW XM Kith Concept のサイド・アクセント・ストリップはブラックのバックライト・ストリップで構成され、各ストリップには 363 個のフルカラーLED ユニットが全長にわたって配置されている。これを作動させると、Kith の文字の周囲がダイナミックに紫色に発光し、サイドパネルの装飾エレメントにも、バックライト付きの Kith ロゴがあしらわれている。

ヘッドライトにも LED ユニットを使用し、パープルの配色を実現している。Kith のロゴは、ロー・ビーム・ヘッドライト用の LED マトリックス・ディスプレイを使用して、メイン・ヘッドライトのガラス・カバーにも表示することが可能である。BMW XM Kith Concept には、紫色の輪郭照明が施された M ラジエーター・グリルのアイコニック・グローと、23 インチ軽合金ホイールの紫色顔料をふんだんに使用した塗装仕上げも採用されている。

モータースポーツの系譜にちなみ、また M1 のデザインに敬意を表して、BMW XM Kith Concept はフロントで 30mm、リアで 35mm ローダウンされ、両アクスルのトレッドは 40mm ワイド化されている。これは、特別なスプリングとホイール・スペーサーの使用によって達成されている。

コンセプト・カーの室内では、2025 BMW XM by Kith の M マルチファンクション・シートに代わって、M カーボン・バケット・シートが採用されている。このバケット・シートの表面には、Kith モノグラムのエン

ボス加工が施され、ヘッドレスト部分には M ストライプと組み合わされた Kith エンブレムがライトアップされている。

伝説を再構築： 1981 年 BMW M1 E26 by Ronnie Fieg.

コンセプト・カーと Kith による 47 台の BMW XM 限定車の両方を歴史的な文脈に位置づけるため、もうひとつのユニークなモデルがマイアミ・ビーチで初めて一般公開された。1981 年の BMW M1 E26 by Ronnie Fieg は、Kith レーベルのデザイン・レパートリーから特別なディテールを取り入れた 1 台限りのスポーツカーである。

モデル名、製造年、内部モデル・シリーズ・コード、そして Kith 創設者の名前が記されたこの車は、ロニー・ファイグのアイデアによるものである。テクノ・バイオレット塗装仕上げ、テールゲートの M と Kith を組み合わせたエンブレム、Kith の文字がエンボス加工されたインテリアは、市販車のデザインの類似性に加えて、ロニー・ファイグの 1981 年型 BMW M1 と 2025 年型 BMW XM Kith Concept の間に新たなデザインの類似性を生み出している。マイアミ・ビーチに登場した 2 台は、50 年以上にわたる BMW の歴史の中で、BMW M として開発・生産された最初のモデルと最後のモデルの架け橋となった。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インターラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>